

成果の説明書

(氏名) 吉武信彦	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>以下の研究活動を行なった。</p> <p>(1) 論文</p> <ul style="list-style-type: none">・「ノーベル賞の国際政治学——第二次世界大戦以前の日本におけるノーベル賞の受容——」『地域政策研究』（高崎経済大学）第20巻第2号、2017年11月、1～32頁。 <p>(2) 口頭報告、講演など</p> <ul style="list-style-type: none">・報告「ノーベル平和賞と日本——吉田茂元首相の推薦をめぐる秘密工作とその帰結、1965－1967年——」バルト・スカンディナヴィア研究会、2017年4月15日。・講演「ノーベル賞の政治——ノーベル平和賞と日本——」かわさき市民アカデミー（川崎市）講師「世界を旅する⑰北欧・ツアー（第1部）、2017年6月21日。・講演「ノーベル平和賞と日本——歴代日本人候補者・受賞者について——」北欧文化協会（東京）2017年度9月例会、2017年9月15日。・司会「自由論題1 デンマーク福祉国家における社会的包摂」、北ヨーロッパ学会15周年記念大会、早稲田大学、2017年12月3日。・報告「EU拡大の国際関係」21世紀アジア研究会、拓殖大学、2018年3月6日。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・日本国際政治学会『国際政治』の論文査読、2017年9月。・寄稿「ノーベル平和賞と日本——歴代日本人候補者・受賞者について——」『宇宙樹』（北欧文化協会）復刊第256号、2017年10月5日、1～2頁。・共同執筆「北欧会議——その活動と課題」、「デンマークの国民投票」、「ノーベル賞——その誕生と文学賞」、北欧文化協会、バルト・スカンディナヴィア研究会、北欧建築・デザイン協会編『北欧文化事典』丸善出版、2017年10月、10～11、342～343、358～359頁。	
<p>2 その他の事項</p> <p>特になし</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>講義、演習の準備に時間を多くとられるようになった。「少人数教育」とは何かを意識しつつ、教育と研究との間の最適なバランスを考えていきたい。</p>	